

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成26年8月8日

【四半期会計期間】 第86期第1四半期(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

【会社名】 株式会社和井田製作所

【英訳名】 WA I D A M F G . C O . , L T D .

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 和井田 光生

【本店の所在の場所】 岐阜県高山市片野町2121番地

【電話番号】 0577(32)0390(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 名和 芳治

【最寄りの連絡場所】 岐阜県高山市片野町2121番地

【電話番号】 0577(32)0390(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 名和 芳治

【縦覧に供する場所】 株式会社和井田製作所 東京支店
(東京都港区西新橋二丁目18番2号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第85期 第1四半期 連結累計期間	第86期 第1四半期 連結累計期間	第85期
	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	639,092	768,768	4,726,883
経常利益又は経常損失() (千円)	185,845	94,852	38,043
当期純利益 又は四半期純損失() (千円)	104,142	92,701	47,288
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	80,029	71,694	90,243
純資産額 (千円)	4,590,086	4,560,221	4,657,630
総資産額 (千円)	8,017,567	7,525,484	7,439,253
1株当たり当期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失 金額() (円)	15.71	14.42	7.16
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	57.3	60.6	62.6

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

株式取得による会社等の買収

当社は、平成26年6月19日開催の取締役会において、当社の持分法適用会社である和井田友嘉精機股份有限公司の株式を取得し、当社の連結子会社とすることを決議し、平成26年6月19日付で株式譲渡契約を締結しました。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における工作機械業界は、国内の各種政策による景況感の改善や、米国の景気回復・欧州経済の持ち直しの影響により高水準の受注が継続しており、平成26年6月の受注総額は4ヵ月連続の1,200億円超となりました。内需は、生産性向上設備投資促進税制などの政策効果が顕在化しつつあり、一般機械、自動車、電機・精密、航空・造船・輸送用機械の主要4業種について底堅く推移しました。また外需は、堅調な北米・欧州に加え、出遅れていたアジアにおいても中国の電気・精密向けスポット受注が継続するなど復調の兆しが見られ、外需全体で回復基調となりました。

このような経済環境下、当社グループは、海外においては持分法適用関連会社である和井田友嘉精機股份有限公司（台湾）を連結子会社化することを決定し、アジア地域における生産販売体制のさらなる強化に努めてまいりました。また、HAAS社（ドイツ）との販売連携も具体的な成果が出始め、当第1四半期連結累計期間においてHAAS社を通じて当社の切削工具研削盤を欧州のお客様に販売いたしました。国内では、平成26年6月に東京ビッグサイトで開催されたMEDIX（第5回医療機器開発・製造展）に出展し、今後の成長が期待される医療分野を視野に入れた取り組みを行ってまいりました。

製品開発では、現行の切削工具研削盤シリーズの新機種やプロファイル研削盤の次世代機のJIMTOF出展・市場投入に向けた開発を継続して行うなど、お客様のニーズにお応えできる製品の開発に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの受注額は、前四半期連結会計期間（平成26年1月～3月）と比較して16.0%増となり、内需・外需ともに堅調に推移しました。しかし、受注の多くが第2四半期連結累計期間以降の販売となるため、当第1四半期連結累計期間の売上高は768百万円（前年同期比20.3%増）と、利益を確保するまでの売上には至らず、営業損失は102百万円（前年同期は183百万円の営業損失）、経常損失は94百万円（前年同期は185百万円の経常損失）、四半期純損失は92百万円（前年同期は104百万円の四半期純損失）となりました。

品目別に業績を示すと、次のとおりであります。

(金型関連研削盤)

主力市場である中国や国内の受注の増加分が、当第1四半期連結累計期間における本格的な業績改善には寄与せず、結果として、売上高は106百万円（前年同期比54.0%減）となりました。金型関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の13.8%を占めております。

(切削工具関連研削盤)

好調な切削工具関連業界の影響を受け、大手切削工具メーカー等からの受注が堅調に推移し、売上高は401百万円（前年同期比106.2%増）となりました。切削工具関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の52.2%を占めております。

(その他の機械)

HAAS社製品とNCプロッター（作図機）が堅調に推移し、売上高は86百万円（前年同期比55.7%増）となりました。その他の機械の売上高は、当社グループの総売上高の11.3%を占めております。

(アフターサービス)

アフターサービス（有償修理）及びメンテナンス部品については、売上高は174百万円（前年同期比10.5%増）となりました。アフターサービスの売上高は、当社グループの総売上高の22.7%を占めております。

(2) 財政状態の分析

総資産は、前連結会計年度末に比べ86百万円増加し、7,525百万円となりました。これは、主として現金及び預金が181百万円、仕掛品が449百万円増加し、受取手形及び売掛金が568百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ183百万円増加し、2,965百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が152百万円、1年内返済予定の長期借入金が301百万円増加し、短期借入金が90百万円、長期借入金が109百万円減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ97百万円減少し、4,560百万円となりました。これは、主として利益剰余金が118百万円減少したことなどによります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は89百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,028,000	7,028,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	株主としての権利内容に制限 のない、標準となる株 式 単元株式数は100株であります。
計	7,028,000	7,028,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日		7,028,000		843,300		881,244

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 599,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,427,300	64,273	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,500		同上
発行済株式総数	7,028,000		
総株主の議決権		64,273	

(注) 1 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が94株含まれております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社和井田製作所	岐阜県高山市片野町2121	599,200		599,200	8.53
計		599,200		599,200	8.53

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,475,020	1,656,936
受取手形及び売掛金	1,409,699	841,136
商品及び製品	90,064	90,064
仕掛品	898,939	1,348,619
原材料及び貯蔵品	458,305	470,880
未収還付法人税等	-	1,852
繰延税金資産	82,346	115,321
その他	104,206	102,675
貸倒引当金	126	147
流動資産合計	4,518,456	4,627,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	864,598	844,926
機械装置及び運搬具（純額）	373,154	351,391
土地	880,252	880,252
その他（純額）	266,498	293,549
有形固定資産合計	2,384,504	2,370,120
無形固定資産	36,790	35,746
投資その他の資産		
投資有価証券	275,185	302,580
関係会社株式	39,095	42,034
繰延税金資産	50,838	15,036
その他	135,338	133,551
貸倒引当金	955	923
投資その他の資産合計	499,502	492,279
固定資産合計	2,920,796	2,898,145
資産合計	7,439,253	7,525,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	324,136	476,793
短期借入金	255,000	165,000
1年内返済予定の長期借入金	271,988	572,992
環境対策引当金	2,422	-
未払法人税等	1,270	390
その他	289,853	281,981
流動負債合計	1,144,670	1,497,157
固定負債		
長期借入金	1,191,699	1,081,781
長期未払金	134,410	49,030
退職給付に係る負債	137,897	139,588
その他	172,945	197,706
固定負債合計	1,636,952	1,468,105
負債合計	2,781,622	2,965,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,300	843,300
資本剰余金	881,244	881,244
利益剰余金	3,263,032	3,144,615
自己株式	406,664	406,664
株主資本合計	4,580,912	4,462,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,139	88,030
為替換算調整勘定	9,578	9,694
その他の包括利益累計額合計	76,718	97,725
純資産合計	4,657,630	4,560,221
負債純資産合計	7,439,253	7,525,484

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	639,092	768,768
売上原価	500,265	507,683
売上総利益	138,827	261,085
販売費及び一般管理費	322,560	363,651
営業損失()	183,732	102,565
営業外収益		
受取利息	26	82
受取配当金	5,302	5,153
受取賃貸料	4,020	6,028
為替差益	508	-
その他	972	3,081
営業外収益合計	10,830	14,345
営業外費用		
支払利息	6,647	4,750
持分法による投資損失	3,119	-
為替差損	-	1,371
その他	3,176	510
営業外費用合計	12,943	6,632
経常損失()	185,845	94,852
特別損失		
固定資産除却損	-	0
減損損失	1,158	-
特別損失合計	1,158	0
税金等調整前四半期純損失()	187,004	94,852
法人税、住民税及び事業税	1,321	1,526
法人税等調整額	84,183	3,677
法人税等合計	82,861	2,151
少数株主損益調整前四半期純損失()	104,142	92,701
四半期純損失()	104,142	92,701

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	104,142	92,701
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	21,642	20,891
為替換算調整勘定	574	-
持分法適用会社に対する持分相当額	1,895	115
その他の包括利益合計	24,112	21,006
四半期包括利益	80,029	71,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,029	71,694
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

下記会社のリース会社とのリース契約等に対する債務について債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成26年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)	
鄭州市鑽石精密製造有限公司	67,802千円	鄭州市鑽石精密製造有限公司	61,022千円
無錫高晟成型科技有限公司	38,160千円	無錫高晟成型科技有限公司	35,892千円
無錫特文博精密模具有限公司	12,293千円	吳江翔実模具有限公司	19,032千円
その他(13社)	78,420千円	その他(13社)	70,196千円
計	196,677千円	計	186,142千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
減価償却費	70,399千円	68,012千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月19日 定時株主総会	普通株式	25,714	4.00	平成26年3月31日	平成26年6月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、セグメント情報は記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、セグメント情報は記載しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	15円71銭	14円42銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	104,142	92,701
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	104,142	92,701
普通株式の期中平均株式数(株)	6,628,706	6,428,706

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8 月 8 日

株式会社和井田製作所
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 田 豊 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高 橋 浩 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社和井田製作所の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社和井田製作所及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。